

# みみ 耳がとってもいい子のおはなし

もしかしたら、みんなの中には、<sup>なか</sup>耳がとってもいい<sup>こ</sup>子が いるかもしれない、って してた？（「ちょうかくかびん」というよ）

じつは、<sup>みみ</sup>耳がとってもいい<sup>こ</sup>子は、<sup>おと</sup>だいじな音も、<sup>おと</sup>そうでない音も、<sup>き</sup>ぜ～んぶ よく 聞こえすぎちゃうんだ。



だから、<sup>おお</sup>にぎやかな <sup>おと</sup>ところに <sup>おと</sup>ずっといたり、<sup>おお</sup>大きな音や <sup>おと</sup>にが手な音で、<sup>おと</sup>すごく <sup>おと</sup>しんぱいになったり、<sup>おと</sup>学校を <sup>おと</sup>お休みしたくなるくらい <sup>おと</sup>つかれちゃうことも <sup>おと</sup>あるんだよね。



でも、たとえば「イヤーマフ」という <sup>みみ</sup>耳あてや、<sup>みみ</sup>耳せんをすると、<sup>おと</sup>すこしラクに <sup>おと</sup>なるかも！（<sup>おと</sup>だいじな声は、<sup>おと</sup>ちゃんと <sup>おと</sup>聞こえるよ。）

<sup>ひと</sup>しりよくのよわい人の <sup>ひと</sup>メガネや、<sup>ひと</sup>かぶんしょうの人の <sup>ひと</sup>マスクとおなじだね。

でも、もしも、<sup>おと</sup>きょうしつが、<sup>おと</sup>いつも <sup>おと</sup>と～っても <sup>おと</sup>にぎやかだったとしたら、<sup>おと</sup>どうかな？

みんなが <sup>おと</sup>元気よく <sup>おと</sup>するのは <sup>おと</sup>すてきなことだよね。  
でも、もしかしたら、<sup>おと</sup>そんなとき、<sup>おと</sup>耳がとってもいい<sup>こ</sup>子は、「<sup>おと</sup>つらいなあ」って <sup>おと</sup>おもってる <sup>おと</sup>かもしれないこと、<sup>おと</sup>ほんのすこ～しだけ、<sup>おと</sup>おぼえててくれると <sup>おと</sup>うれしいです。